

市民健康意識調査アンケート概要

1. 調査目的

令和4年度に実施する「第2次健康あきた市21」の最終評価の基礎資料として、数値目標の達成状況および健康づくりに関する市民の意識等を把握するため、市民健康意識調査を実施する。

2. 実施状況

(1) 調査期間

令和3年11月30日(火)～令和3年12月31日(金)

(2) 調査地域

秋田市全域(中央、東部、西部、南部、北部、河辺、雄和地域の7地域に区分)

(3) 調査対象

令和3年10月1日時点で、住民基本台帳に登録されている0歳以上の市民から無作為抽出された男女4,500人。

なお、調査は、15歳以下(保護者が回答)と16歳以上の2種類の調査票により実施。

(4) 調査方法

郵送法

(5) 回答数・回答率

区分	調査対象者数	回答数	回答率
全体	4,500人	2,288人	50.8%
内訳			
15歳以下	600人	344人	57.3%
16歳以上	3,900人	1,944人	49.8%

3. 調査内容

- (1) 健康状態と健康意識について
- (2) 食生活について
- (3) 運動習慣について
- (4) がん検診について
- (5) 歯・口腔の健康について
- (6) 休養・こころの健康について
- (7) お酒について
- (8) たばこについて
- (9) 健康づくりに関する要望

4. 集計に当たって（集計結果を見る際の注意点）

- (1) 本調査の集計分析の対象とした回答者総数は、15歳以下が344、16歳以上が1,944です。調査項目によっては、集計対象回答者数が異なることがあります。
- (2) 回答割合（％）は、少数第2位を四捨五入しており、回答割合を合計しても100.0にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、各設問の回答者数を基数として回答割合を算出するため、すべての選択肢の回答割合を合計すると100.0%を超えます。
- (4) 集計結果における性別は、15歳以下では子どもの性別、16歳以上では回答者の性別を表します。
- (5) 自由記述式回答の本報告書への掲載は、集計結果から省略しています。寄せられた意見については、今後、秋田市の健康づくり施策を検討するに当たって参考とさせていただきます。
- (6) 調査票における選択肢の語句を短縮している場合があります。

調査にご協力くださった市民の皆様、誠にありがとうございました。

担当 秋田市保健所保健総務課
総務企画担当

直通 018-883-1170

FAX 018-883-1171

市民健康意識調査アンケート結果抜粋

1. 健康状態と健康意識について

16歳以上

- (1) 問9 あなたの現在の健康状態

「よい」、「まあよい」、「ふつう」と回答した割合の合計は79.7%であり、H28調査（平成28年度実施。以下同様）の79.2%を0.5%上回った。

- (2) 問10 ふだん健康のために、気をつけていること

健康のために「食事」に気をつけている割合が64.7%と最も高く、次いで「運動」の43.7%、「健診（検診）を受ける」の42.1%が高い割合となった。H28調査と比べて、「食事」の割合は低下した一方、「運動」は5.8%、「健診（検診）を受ける」は1.9%上昇した。

15歳以下

- (1) 問7 子どもの現在の健康状態

「よい」、「まあよい」、「ふつう」と回答した割合の合計は96.2%であり、H28調査の98.0%を1.8%下回った。

2. 食生活について

16歳以上

- (1) 問14 栄養成分表示を参考にしている人の割合

「いつもしている」、「まあまあしている」と回答した割合の合計は43.2%であり、H28調査の47.1%を3.9%下回った。

- (2) 問15 1日の野菜の目標摂取量

1日の野菜の目標摂取量を「知っている」と回答した割合は52.7%であり、H28調査の54.7%を2.0%下回った。

15歳以下

- (1) 問10 子供がひとりで食事をする割合

「1日に2～3回はある」、「1日に1回はある」と回答した割合の合計は、11.2%であり、H28調査の7.5%を3.7%上回った。

3. 運動習慣について

16歳以上

- (1) 問19 運動している人の割合

1日20分以上の運動をしている人の割合は、42.9%であり、H28調査の41.1%を1.8%上回った。

- (2) 問19(1) 1週間あたりの運動回数

「週3～4日」と回答した割合が36.9%と最も高く、次いで「ほとんど毎日」が33.5%と高い割合となった。「ほとんど毎日」は、H28調査の29.0%を4.5%上回った。

(3) 問 19(2) 「運動しない」、「運動できない」理由

「運動しない」、「運動できない」理由として、「時間がない」と回答した割合が 40.1%と最も高く、次いで「体を動かすのが面倒」の 32.5%、「腰痛・膝痛等がある」の 23.2%が高い割合となった。H28 調査と比べて、「時間がない」は 5.0%、「体を動かすのが面倒」は 1.0%低下した一方、「腰痛・膝痛等がある」は 1.5%上昇した。

(4) 問 20 歩数の記録をしている割合

「記録している」と回答した割合は、25.5%であり、H28 調査の 16.3%を 9.2%上回った。

(5) 問 21 ロコモティブシンドロームという言葉の意味を知っている人の割合

「よく知っている」と回答した割合は、14.0%であり、H28 調査の 13.2%を 0.8%上回った。

15 歳以下

(1) 問 11 日頃体を動かす子供の割合

「ほとんど毎日」、「週 3、4 回」、「週 1、2 回」と回答した割合の合計は、84.4%であり、H28 調査の 88.7%を 4.3%下回った。

(2) 問 12 「運動しない」、「運動できない」理由

「運動しない」、「運動できない」理由として、「ゲーム・パソコンで遊ぶ方がよい」と回答した割合が 40.0%と最も高く、H28 調査の 24.3%を 15.7%上回った。

(3) 問 13 子供が体を動かす場所・機会

「家の中」と回答した割合が 52.3%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園、学校」が 42.4%と高い割合となった。また、「スポーツ少年団・運動部活動」と回答した割合の合計は、17.4%であり、H28 調査の 25.1%を 7.7%下回った。

4. がん検診について

16 歳以上

(1) 問 23、問 24 各がん検診を受けた割合

各がん検診について「受けた」と回答した割合は、子宮頸がん検診は 35.9%で H28 調査と比べて 1.5%低下、乳がん検診は 38.0%で同 4.4%上昇、胃がん検診は 43.9%で同 1.2%上昇、肺がん検診は同 51.9%で 0.7%上昇、大腸がん検診は同 52.4%で 9.2%上昇した。

(2) 問 25 がん検診を受けていない理由の割合

「医療機関を受診中」が 17.5%で最も高く、次いで「忙しく都合がつかない」が 15.2%で続いた。

5. 歯・口腔の健康について

16 歳以上

(1) 問 27 自分の歯を 20 本以上有する人の割合

「20～27 本」、「28 本以上」と回答した割合の合計は 65.6%であり、H28 調査の 68.7%を 3.1%下回った。

(2) 問 30 この 1 年間に歯科医院で歯科健診を受けた割合

「ある」、「定期的に管理中」と回答した割合の合計は、50.2%であり、H28 調査の 48.0%を 2.2%上回った。

(3) 問 31 この 1 年間に歯科医院で歯磨きや食事、生活習慣の指導を受けた割合

「ある」と回答した割合は 39.4%であり、H28 調査の 36.2%を 3.2%上回った。

(4) 問 32 歯科医院で口腔ケアを受けた間隔

「年に 3 回以上」、「半年に 1 回」、「年に 1 回以上」、「定期的に管理中」と回答した割合の合計は、51.0%であり、H28 調査の 46.4%を 4.6%上回った。

15 歳以下

(1) 問 14 この 1 年間に歯科医院で歯科健診を受けた割合

「ある」と回答した割合は 60.4%であり、H28 調査の 48.4%を 12.0%上回った。

6. 休養・こころの健康について

16 歳以上

(1) 問 42 睡眠を十分にとれていない人の割合

「あまりとれていない」、「まったくとれていない」と回答した割合の合計は、23.0%であり、H28 調査の 23.6%を 0.6%下回った。

(2) 問 43 気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合

(ア)～(カ)を点数化した 10 点以上の割合は、12.6%であり、H28 調査の 13.2%を 0.6%下回った。

(3) 問 46 ストレスを感じたときに何もしない人の割合

「特にしていない」と回答した割合は 16.8%であり、H28 調査の 16.0%を 0.8%上回った。

(4) 問 47 ストレスを感じたときに誰にも相談しない人の割合

「特に相談しない」と回答した割合は 38.4%であり、H28 調査の 36.7%を 1.7%上回った。また、ストレスを感じたときに相談しない理由として、「相談する必要がない」と回答した割合は 72.0%であり、H28 調査の 64.5%を 7.5%上回った。

(5) 問 48 自殺を考えた割合

「あった」と回答した割合は 14.4%であり、H28 調査の 17.4%を 3.0%下回った。

15 歳以下

(1) 問 19 子どもが睡眠不足だと感じている親の割合

「感じている」と回答した割合は 23.4%であり、H28 調査の 22.2%を 1.2%上回った。

(2) 問 22 子どもの悩みや心配事

「ない」と回答した割合は 50.8%であり、H28 調査の 46.5%を 4.3%上回った。

(3) 問 23 子どもが悩みを相談する相手

「親」と回答した割合が 85.0%で最も高く、次いで「友達」の 36.3%、「先生」の 23.3%が高い割合となった。H28 調査と比べて、「親」は低下した一方、「友達」は 3.8%、「先生」は 11.9%上昇した。

7. お酒について

16 歳以上

(1) 問 52 アルコールの適量を知っている人の割合

飲酒する人のうち、アルコールの適量を「知っている」と回答した割合は 68.3%であり、H28 調査の 67.5%を 0.8%上回った。

15 歳以下

(1) 問 24 未成年者の飲酒する割合

アルコールの入った飲み物を「時々飲んでいる」、「よく飲んでいる」と回答した割合は 0.0%であり、H28 調査の 0.0%を維持した。

(2) 問 27 お酒を飲み過ぎると身体に害があることを知っている子どもの割合

「知っている」と回答した割合は 78.8%であり、H28 調査の 87.3%を 8.5%下回った。

8. たばこについて

16 歳以上

(1) 問 55 COPD について知っている人の割合

「よく知っている」、「名前は聞いたことがある」と回答した割合の合計は 43.6%であり、H28 調査の 49.1%を 5.5%下回った。

15 歳以下

(1) 問 29 子どもへのたばこの害について特に配慮していない人の割合

子どもへのたばこの害について「特に配慮していない」と回答した割合は 15.4%であり、H28 調査の 10.1%を 5.3%上回った。